

武蔵野大学大学院通信教育部環境学研究科

小論文過去問題（環境マネジメント専攻）

令和2年度 第1回

次の二つの問題のうち、どちらかを選び800字程度で回答しなさい。

（1）気候変動問題については、地球規模での二酸化炭素の削減が必要とされています。一方で、開発途上国には、「先進国は二酸化炭素を大量に排出し経済発展を遂げてきた。これから経済発展しようとしている開発途上国に排出削減を求めるのは不公平であり、二酸化炭素の削減は先進国が責任をもって行うべきである」という意見があります。そのような意見についてあなたはどのように考えますか。

（2）現代社会では昔に比べて大量の資源が使われています。このような傾向が続くと、いずれは使える資源が枯渇し、社会が成り立たなくなるのではないかという指摘があります。一方で、相対的に資源が希少になってくれば、市場価格が上がり、使用量が低下するとともに、その資源に代替する資源や技術が出てくるので心配はないという意見があります。そのような意見についてあなたはどのように考えますか。

令和2年度 第2回

次の二つの問題（1）、（2）のうち、どちらかを選び800字程度で解答しなさい。

（1）最近、「持続可能な発展」を目指すべきとの機運が世界的に高まっています。これに関して、以下の問いに答えなさい。

①あなたが考える持続可能な発展の内容を記述してください。

②それらの内容を含めた全体として、世界は現在、持続可能な方向に進んでいるか、そうではないかについて判断し、その理由についても記述してください。

③持続可能な方向に進んでいないと考えた方は、それを変えるにはどうしたらよいかについてあなたの考えを記述してください。

（2）最近、プラスチック問題が話題になっています。これに関して、以下の問いに答えなさい。

①プラスチック問題は、環境問題を含めた持続可能な発展の観点から、何が問題であるのか、その内容について記述してください。

②プラスチックは現代社会に広く使われていますが、どのような分野からその使用を減らしていくべきかその事例をあげてください。

③プラスチックに代替するものとしてどのような技術開発やライフスタイルが考えられるかあなたの考えを記述してください。

令和2年度 第3回

図1、図2（別添）の意味するところを簡潔に紹介した上で、持続可能な社会を構築するためにはどのようにすべきだと考えますか。

あなた自身の考えとその理由を述べなさい。（800字以内）

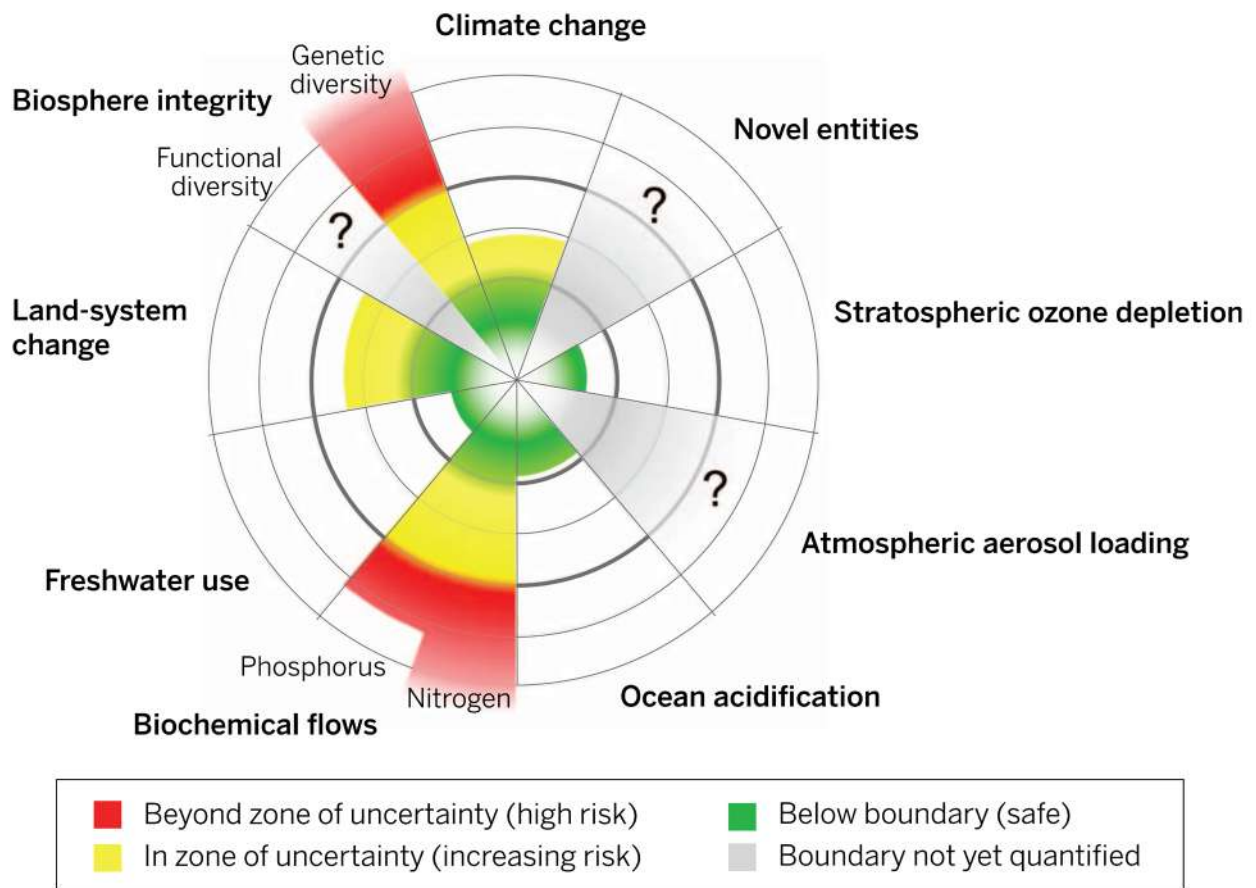


図 1 Current status of the control variables for seven of the planetary boundaries.

出典 : Will Steffen et al. (2015). Planetary boundaries: Guiding human development on a changing planet, Science 330 Vol. 347.

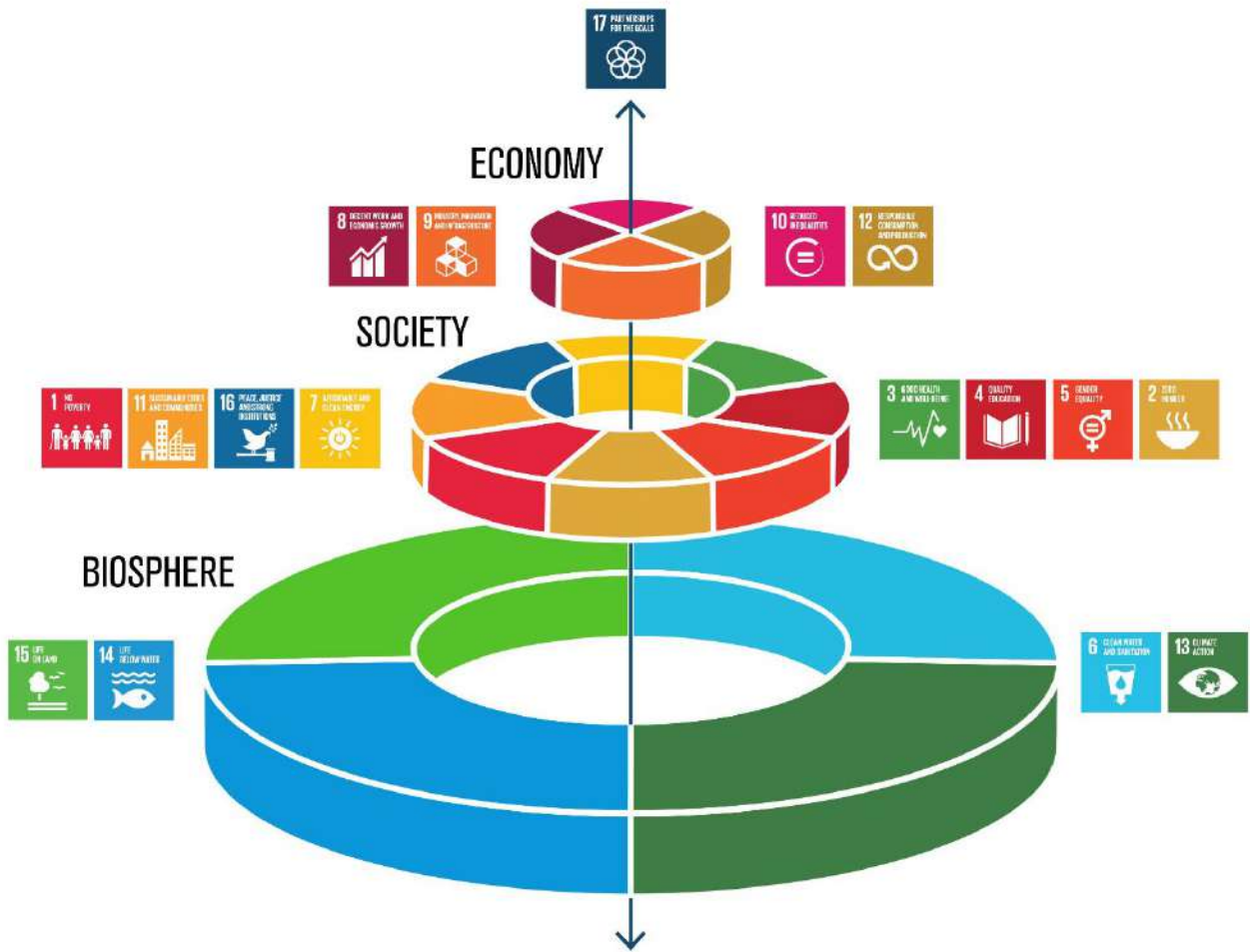


図2 New way of viewing the Sustainable Development Goals and how they are all linked to food.

出典：Johan Rockström and Pavan Sukhdev, Resilience Centre, Stockholm University

<https://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-how-food-connects-all-the-sdgs.html>

平成31年度 第1回

次の二つの問題のうち、どちらかを選び800字程度で答えなさい。

(1) 現在、プラスチックによる環境問題が注目されていますが、以下の3項目に分けて回答してください。①何が問題とされているのか。②なぜそのような問題が生ずるのか。③問題を解決するにはどうしたらよいか。

(2) 気候変動問題に関し、温室効果ガスを削減する手段のひとつとして、日本は再生可能エネルギーと原子力発電の利用を掲げていますが、ドイツでは再生可能エネルギーの利用は掲げているものの、原子力発電の利用は2022年までに廃止することとしています。日本とドイツで原子力発電の利用について、なぜそのような違いがあるのか、あなたの考えを記述してください。

平成31年度 第2回

次の二つの問題のうち、どちらかを選び800字以内で記述しなさい。

①日本の江戸時代は、環境の観点からみると、世界に類を見ない持続可能性の高い社会であり、現代社会が参考にすべき要素がたくさんあるという評価があります。一方、江戸時代は経済や技術の発展の観点からみると、制約の大きい社会であり、現代社会にとってあまり参考にならないという評価もあります。これらの考え方について、理由を示しつつ、あなたの考えを述べなさい。

②2020年から開始されるパリ協定の実施細目の検討が進められています。あなたが理解している1) パリ協定の概要、2) パリ協定の課題、3) その解決に向けた望ましい方向、についてあなたの考えを述べなさい。

平成31年度 第3回

次の二つの問題のうち、どちらか一つを選び800字程度で解答しなさい。

(1) 京都議定書、パリ協定など気候変動問題をめぐる国際的な対応が続いていますが、大気中の二酸化炭素濃度の増加や地球の平均気温の上昇ははまだ止まっていません。このような状況で、人類は今後、この問題に適切に対処できるという楽観論と、対処できないという悲観論があります。このことについてあなたはどうか考えるか、できるだけ具体的な根拠を示しつつ記述してください。

(2) 望ましい環境経営は、環境負荷の低減と利益の創出という二つの要素をともに確保できる状況を作り出すことであるという考え方があります。そのような状況は、どのようなやり方をすれば実現するか、あなたの考えを記述してください。

平成30年度 第1回

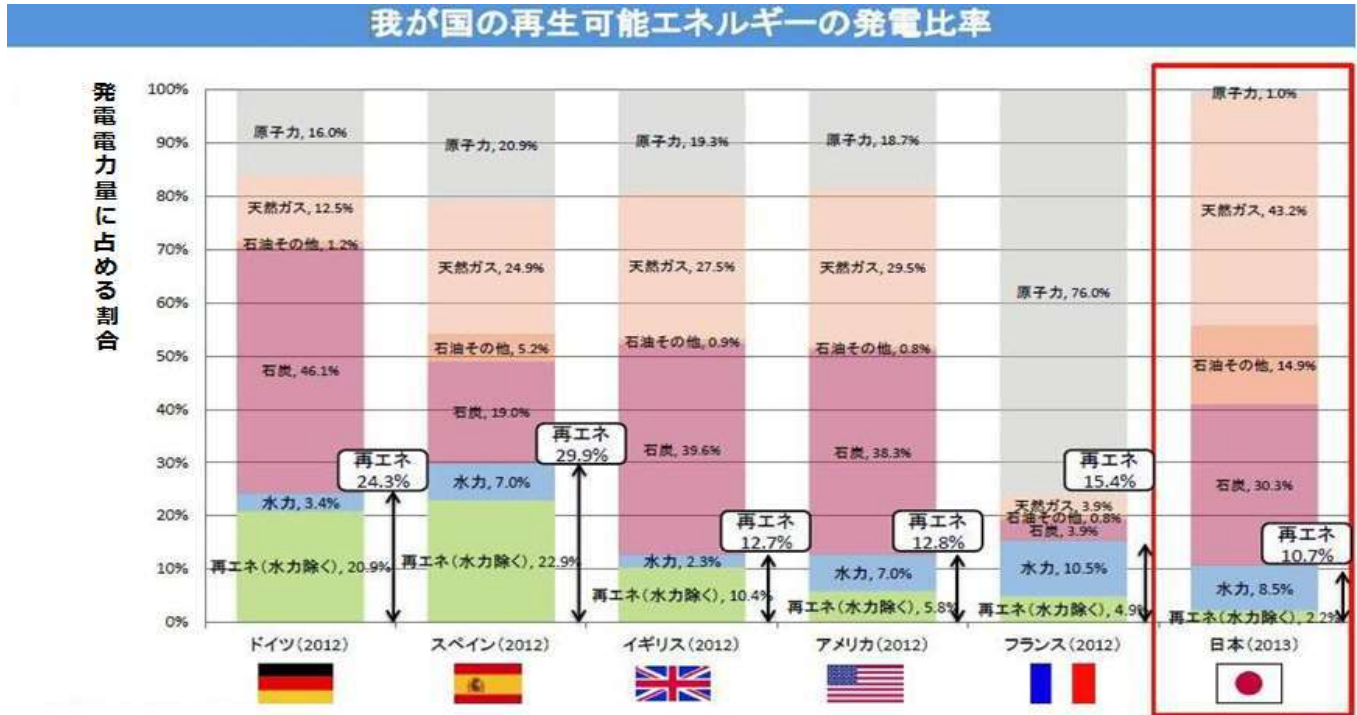
別紙の参考資料（図表）と解説から、海外と比較して、我が国の将来のエネルギー政策について、その特徴を解説し、あなたの考える将来のエネルギー政策のあるべき現実的な姿を論じなさい。

ただし、図中の「再エネ」は再生可能エネルギーをさす。（800字）

入学試験（小論文） 参考資料（図表）と解説

受験日時 平成 29 年 11 月 25 日（土） 12:00～13:00

参考資料



【出典】日本「電源開発の概要」等より経済産業省作成。

ドイツ、スペイン、イギリス、フランス、イタリア、アメリカ：2012年データ，IEA Energy Balances of OECD Countries (2014 edition)。

図. 各国の発電比率

日本（2013）は福島事故で原発が止まり，原発は 1.0%，再生可能エネルギー（水力除く）は 2.2%。 そのほかの国の原発と再生エネの割合はドイツ16%と 20.9%，スペイン 20.9%と 22.9%，英国 19.3%と 10.4%，米国 18.7%と 5.8%，フランス 76%と 4.9%。 いずれも 2012 年。 経産省資料。

表. 再生可能エネルギー導入目標比率

	ドイツ	スペイン	イギリス	アメリカ	フランス	日本
主要な再生可能エネルギー	風力	風力	風力	風力	風力	太陽光
目標年	2030 年	2020 年	2020 年	2030 年	2035 年	2030 年
目標比率(総電力比率)	50%以上	40%	31%	40%	80%(含,原発)	22~24%

平成30年度 第2回

次の二つの問題のうち、どちらか一つを選び800字程度で回答しなさい。

1. 持続可能な発展が含むべき要素としては、経済的、環境的、社会的な3つの側面が必要であるとされています。しかしながら、現実的には、経済成長と環境保全の関係をはじめ、相互に相反するトレードオフの関係に直面するケースが多く見られます。そのような各種のトレードオフの関係を持続可能な発展の観点からどのように整理し、克服していくべきか、何らかの事例をあげて自分なりの考察も含めて論じなさい。

2. 現在、IoT(モノのインターネット化)などの情報技術や遺伝子操作などのバイオ技術などが急速に進んでいます。そのような技術の発達は、持続可能な発展にとってどのような影響があるかについて、何らかの事例をあげて自分なりの考察も含めて論じなさい。

平成30年度 第3回

次の問題のうち、どちらかを選び、800字程度で答えなさい。

(1) 歴史的に見て、環境問題は、その態様が大きく変わってきたと言われています。環境問題の態様の変化とその原因についてあなたの理解しているところ述べなさい。

(2) 気候変動問題の解決のためには、どのような対応が必要と考えるか、日本の気候変動対策の現状にふれつつ、あなたの考えを述べなさい。